

報道関係各位

2017年2月6日  
 ジェットスター・ジャパン株式会社  
 成田国際空港株式会社  
 成田市

＜イベント開催レポート＞  
 ジェットスター、成田国際空港、成田市が  
 熊本の親子のための“第2回課外学習ツアー”を開催  
 初体験の連続に子どもたちは大興奮！  
**ジェットスターで行くくまもと応援親子ツアー**  
 ～成田国際空港の見学や成田市内での体験学習を実施～

ジェットスター・ジャパン株式会社、成田国際空港株式会社、成田市は、阿蘇くまもと空港国際線振興協議会の協力の下、ジェットスターが成田国際空港（以下、成田空港）と結んでいる、阿蘇くまもと空港の近隣に位置する益城町、菊陽町、大津町、および阿蘇市の小学校高学年を対象として、第2回となる課外学習ツアー「ジェットスターで行くくまもと応援親子ツアー」を共同開催しました。

本ツアーは、今までにない体験を通して、子どもたちに新しい学びを得てほしいという願いから、熊本地震から4ヵ月が経過した昨年8月に第1回目を実施しました。第1回目の開催以後、反響が大変大きかったこと、引き続き熊本県への支援を行いたいという関係者の思いにより第2回目を開催し、今回は前回より117組多い、326組の応募の中から選ばれた参加者12組24名をご招待しました。

ツアー1 日目は、機内でキャビンクルーのお仕事を見学し、昼食は機内食風の食事を堪能しました。また、成田空港の立ち入りが制限されている地区に特別に立ち入り、ランプコントロールタワーや空港消防西分遣所、ジェットスターの航空機の出発準備等を見学し、通常見ることができない空港の裏側を知る初めての経験に子どもも大人も感激している様子でした。

ツアー2 日目は、成田市周辺で日本文化の体験学習、成田山表参道の散策と新勝寺見学、また成田市さくらの山では航空機を間近で見学し、親子それぞれの時間を過ごしました。



## ★ 1 日目 いざ成田へ出発！成田空港での初体験が目白押し

出発当日、少し緊張した様子で熊本空港に集まった子どもたち。それぞれの素敵な思い出になればと、期待いっぱいのツアーがスタートしました。搭乗前には子どもたちに、パイロットやキャビンクルーや整備士など、ジェットスターのさまざまなお仕事内容を紹介。子どもたちは耳を傾けながら、いろいろな人が関わって航空機を飛ばしていることを学びました。

成田空港に到着すると、搭乗便を操縦した機長がサプライズで、機内でお出迎え。子どもたち一人ひとりと握手しながらツアーへ送り出しました。飛行機を実際に操縦するパイロットを目の前にして、嬉しそうに機長の手をしっかりと握り飛行機を降りていく子どもたちが印象的でした。

昼食では成田エアポートレストハウス西尾料理長より、「機内食は何度で何分火を通さないといけないというルールがあり、お客様にお届けするまでに時差が生じてしまう可能性があります。同じおいしさで味わっていただくために、焼き料理よりも、煮込み料理が多いです。一番おいしいオススメ機内食メニューは煮込み料理なので、ぜひ上空では煮込み料理を選んで召し上がってみてください」と機内食の秘密を教わりました。



## ～成田空港やジェットスターのお仕事の裏側を見学～

普段は入ることができないランプコントロールタワーの見学では、成田国際空港株式会社西浦から、安全かつ効率的に空港の運営をするためのお話をしました。滑走路に異常がないか点検をして当日の離着陸に支障がないか事前に確認していることや、建物の上では実際にランプコントローラーが飛行機に指示を出していることなどを分かりやすく解説しました。子どもたちはうなずきながら説明を聞いて、「あの飛行機も右へ曲がってる！指示されたのかな」とランプコントロールのお仕事に興味津々でした。



その後の空港消防西分遣所見学では、消防隊員が敬礼をしてお出迎え。消防隊の防火服を着たり、消防車に乗って写真を撮ったりと、親子ではしゃぐ姿がありました。また、実際に放水も体験し、「放水はじめ！放水やめ！」と消防士さながらに大きな声で放水体験する子どもたちの姿はたくましく感じられました。また国内空港で初導入の「HRET 型空港用化学消防車」の放水実演も見学しました。



ジェットスターのお仕事見学では、国内の航空会社でジェットスターが唯一所有しているパワープッシュユニット(通称:PPU)と呼ばれる遠隔操作ができる車両を使い、航空機を地上スタッフ一人が操作して引っ張る光景を見学しました。「ゲーム機みたい、やってみたい！」と子どもたちから声があがりました。また、飲料水や燃料を補給する場面、機長が自ら機体を点検して回る光景も見ることができ、子どもたちは終始目を輝かせていました。



## ～成田市長も駆けつけ、笑顔に溢れた夕食会～

夕食会には、千葉県成田市の小泉一成市長も駆けつけ、「昨年 11 月成田市民 32 名と熊本を訪れ、歴史と自然、食文化に触れた際、熊本は大変良いところだなと感じました。この度の地震では大変な思いをされたと思います。素敵な熊本の一日も早い復興を願うと共に、熊本に寄り添って復興支援を続けてまいりたいと思います。親子の皆さん、ようこそお越しくださいました。明日もぜひ楽しんでください」と、述べました。最後には成田市のマスコットキャラクターうなりくんも登場し、参加者全員での集合写真を撮影しました。



## ★ 2日目 成田で体験と観光！

～熊本産の畳を使った世界でひとつのコースター作りに挑戦！～

2日目最初の行き先は、体験博物館 千葉県立房総のむら。熊本から取り寄せているという畳を使って、作り方の説明をよく聞きながら作る子どもたちの表情は真剣そのもの。お父さんお母さんが作っているのを覗き込みながら、時々アドバイスをもらって黙々と作っていました。それぞれ好きな柄の和紙を選んで完成させたコースターは世界でたった一つのオリジナルコースターをつくり上げました。



成田市を代表する観光地である「成田山新勝寺」では、頭が良くなりますようにと香閣の煙を頭に浴びる姿がありました。また参詣をしてお守りを家族にと選ぶ姿もありました。次に訪れた、「ちば眺望 100 景」にも選ばれる成田さくら山では、絶好のロケーションと快晴で離陸や着陸をする飛行機を見学し、1泊2日の課外学習ツアーは無事に終了しました。



貴重な体験ができたこの課外学習を通じて、子どもたちは「いろいろな体験ができて楽しかったです。今度は熊本にいる家族みんなと来てみたいです。」と感想を述べていました。また、一緒に参加した親たちからは「このような機会はめったにないので、子どもにとってはかけがえのない体験ができ、思い出に残ると思います。帰ったら家族に自慢すると子どもが言っていたので、きっとすごく楽しくて、いろいろなことが知れて嬉しいんだと思います。」といった感想があがり、親子2人で特別なひと時を過ごしただけでなく、帰ってから家族と楽しかった時間を共有してもらえるような課外ツアーとなりました。



### 【開催概要】

- タイトル : ジェットスターで行くくまもと応援親子ツアー
- 日時 : 2017年1月28日(土) 10:50 熊本空港 発 ～ 29日(日) 18:50 熊本空港 着  
1月28日(土): 昼食会、成田空港見学、夕食会  
29日(日): 成田市内見学
- 対象 : 熊本県益城町、菊陽町、大津町、および阿蘇市の小学生(4～6年生)および保護者様 12組 24名
- 参加費 : 無料
- 企画 : ジェットスター・ジャパン株式会社、成田国際空港株式会社、成田市
- 協力 : 阿蘇くまもと空港 国際線 振興協議会
- ツアー主催 : ジェットスター・ツアーズ運営 株式会社アーク・スリー・インターナショナル